

助っ人ドライバーは完璧です!



菊地 靖選手

谷口信輝選手

■バトドリGPでもお世話になってますのスイフトさん&ガレージOHNOさんの走行会。そこでスイフトがスポンサーするドライバーが大勢参加。そのなかでハチロクに乗ってくれたのがこの2人。文句なしの布陣。

Gr.A ENGINE 再生計画

5VALEVE 4A-G編

by RACING PROJECT BANDO & CARBOY



photo — 沖 勇吾
report — 深田昌之

良くなっているけど良くない部分も……

Gr. Aハチロク、初めて壁に当たる

ナニかが足りない! ……遠いぜ、1秒台

前 回筑波サーキットを走ったのが、今年の2月。初走行、タイヤはネオバというお試しモードながら1分4秒1という好タイムを記録したグループAハチロク。それからしばらくガレージに引きこもってたけど、いよいよ2度目の走行の時がやってきたのです!

この走行に合わせて、坂東商会が行ってきたことはというと、まずエンジンの再セッティング。

前回はシェイクダウンということで空燃比は濃いめだったが、今回はけっこう本気の数値。

その結果は前号でも紹介しているけど、ピークは約220馬力で、7500回転から8000回転までで200馬力オーバーをキープ。トルクも約7000回転から8000回転まで1.8kgとしては図太い19kgm台を保っている……と実戦向きの仕上がりだ。

さらにタイヤはアドバンA048をチョイスして、コンパウンドもSとGSの2種類を用意。

肝心のドライバーだが、オリドさんは都合により欠席。しかし、当日の走行会はゲストとして谷口選手と菊池選手が来ているので、この2人に乗ってもらえる。これなら安心。どうすか? これでタイムが伸びないわけがないでしょう。

そんな楽勝ムードで始まった走行だけど、まず最初のタイムはなんと1分5秒台。その後、タイヤをSからGSに替えてもあまり変化なし。ドライバーのコメントによると、すべてのコーナーでオーバーが強く、ブレーキの甘さがある、ということ。



▼筑波を1分4秒台で走るには、やっぱりエアロは必要。とくにコーナリングスピードで勝負の小排気量車はこれがないとツライね。



▼エンジンは変わらず好調。前回出たオルタネーターのトラブルも、配線ごとに引き直すことで解決。あとはサージタンクの装着だね。



▲走行結果を確認する。当日は気温も高くなってしまい、その結果、空燃比が薄い方向へ。セッティングの時間が取れず対処不能。

▶グレッディパフォーマンスダンパーに交換して最後の走行に臨む。アライメントは現地で即席合わせながら、約1秒アップは上出来!



◀車高を推奨値にしていたので、サーキットではチョイ高め。そのためロールオーバーが出てしまった。これだけでも直せば……。

▼この日の走行で谷口選手から「ブレーキが効かない」という評価を出された。フロントはいいけど、やはりリヤも強化しなきゃ。



さらにストレートの伸びがイマイチな感じもするというところだけど、これは当然かもしれない。なにせ秋なのにTシャツ一枚でOKの夏日。実際、ロガーで確認すると、高回転域で空燃比は薄めになっていた。ファンネル仕様だから余計に気温に左右されるんだろう。これは参った。だけどここで対応はできないので、エンジンに関しては現状で辛抱。その代わりサスは奥の手があるんです。じつはトラストが発売したグレッディパフォーマンスダンパーを持ってきたので、これにチェンジ。走行時間はあと1回だけど、そのラストにかけてみた。

走り始めてすぐにタイムは1秒アップ! 前の足に比べてフロントの接地感もあり、エアロがないためのオーバーは残るが、それでもトラクションのあたりは良くなっているみたい。ただ、車高を高めにセットしていたため、ロールオーバーも出てしまい、踏み切れない部分もある。よし、そこを直してもうイチヨ!といきたいところだったけど、残念ながら時間切れ。なんと前回のタイムを更新できずに終了。NAレーシングエンジンにとつて大敵の気温の高さ&エアロなしのつらさがモロに響いた結果だ。実際悔しい! だけど解決の目星はついている。この冬に再チャレンジ……1秒台、いきます!

取材協力 東京発条(スウィフト) ☎03-3732-4112
ガレージOHNO ☎046-252-9209



■筑波サーキットを丸1日専有して行われたのがこの走行会。ゲストドライバーは豪華だし、運営もしっかりしているので当然人気。満員御礼でした。スウィフトといえばバトドリGPIにも毎回賞品を出してくれているところ。走る人にはガッチリバックアップ体制を取ってくれている。こういうメーカーはとても親近感がわくね。



◀ガレージOHNOはロードスターチューンでは超有名。当日はデモカーも展示。ほかにホメックス、チーム国光のデモカーもあった。

ウワサのサス装着で好結果!

トラスト
グレッディ
パフォーマンスダンパー



▲以前はノーマルを加工して使うしかなかったスピンドルも、このキットでは削り出し新品つき。これだけでも価値あるキットだ。



▲リヤスプリングは車高調整アダプターつきだ。ショックも全長調整タイプなのでハチロクでもリヤ車高が自在に調整できる。



■このグレッディパフォーマンスダンパーはストリートでの乗り心地は良く、減衰変更だけでSタイヤ+富士スピードウェイ本コースのアタックに対応できる幅広さを持つサスキット。ハチロクで乗り心地を語る足はそうそうありませんよ。価格は19万7000円。トラスト ☎0479-77-3000